

第8回福島県双葉郡教育復興ビジョン推進協議会議事概要

1 開催日時及び開催場所

日時：平成26年8月12日（火）16：00～17：10

場所：富岡町教育委員会（福島県郡山市桑野2-1-1）

2 委員

別紙の通り

3 会議の概要

(1) 各種報告事項

○第8回双葉郡子供未来会議について

7月6日に檜葉町立檜葉小中学校体育館に、双葉郡の小学4年生から高校3年生までの子供24名が参加して双葉郡の中高一貫校の学校名を考えたこと、参加者は公募数314の校名を名前への思いや印象をもとに15のグループに分類し最終的に36の校名に絞り校名候補案として県教育委員会に提出したことが報告された。

○ふたばの教育復興応援団について

復興庁復興大臣政務官小泉進次郎氏の声かけで11名の各界名士がふたばの教育復興応援団として名乗りを上げたこと、この応援団の趣旨は「前例なき環境には前例なき教育で対応しなければならない」という志で双葉郡の教育復興の応援に当たること、具体的には校歌・制服・校章などの制定についての協力や外部講師としての講義や授業に協力していく取組についての報告があった。

(2) 中高一貫校の設置検討状況について

双葉郡広野町に設置予定の福島県立中高一貫校の校名が「ふたば未来学園高等学校」に決定したことが報告され、今後9月下旬に県内6地区で生徒や保護者を対象にして説明会を開催すること、さらに9月28日のふたばワールドにおいて学校のPRに努めることなど新しい高校の魅力を積極的に発信して生徒募集に努めることが提示された。

(3) ふたばワールド2014inかわうちへの参加について

この催しには絆作りの場として双葉郡教育復興ビジョン推進協議会が共催として参加し、参加型ミュージアムを体現する一日とする企画で4つの取組（伝統芸能の発表・ふるさと創造学の取組中間発表・ふたばカフェ・模擬授業）を行うことが提案され了承された

(4) ワーキンググループ検討状況報告について

○WG①「各町村立幼小中学校間の連携について」

9月28日にふるさと創造学の取組について中間発表を行ったこと、今後12月20日にふるさと創造学サミットを、年明け1月23日に教職員対象の子供未来会議を開催予定であることが示された。さらに、双葉郡の復興に結びつける取組として年度末には生徒間の島根県海士町との交流計画が示された。

○WG②「多様な主体との連携について」

学校支援組織の立ち上げとして、まず川内村において「川内っ子を育てる会」が設立されたことが報告された。また、学校支援組織についてはコーディネーターに人を得ることの難しさが語られた。

○WG③「避難している子供達や住民との絆作りについて」

学習支援の対象者を把握するニーズ調査を行うことが提案され了承された。その際、夢ゼミの具体的な実施や町村の垣根を越えた取組など予算面を含めての対応など今後の課題が提示された。

(5) 双葉郡教育復興ビジョン推進計画書（平成26年8月版について）

ふるさと創造学を子供の学びに役立てていくこと、中高一貫校については併設中学校について協議を継続していくこと、教職員研修を実施すること、学習支援に関しては町村をこえた取組の可能性を探ること、外部の各主体との連携を図ること、事務局体制を整備すること等が提案され了承された。修正提案については今後メールやFAX等で共有しながら事務局でまとめること、別途協議に関しては座長預かりで丁寧に対応することが確認された。

以上